

# 葦原中だより

学校だより

6月号

在籍生徒数

6月1日現在

1年 81名

2年 104名

3年 98名

にじいろ学級

7名

学校所在地

〒356-0001

ふじみ野市川崎

310番地

## 損切り

校長 山崎 祐一

国連や内閣府の調査によると日本の若者は自己肯定感や自尊心が低いそうです。欧米諸国では80%以上の若者が高く、日本では45%程の数値に留まっています。その後、文科省などからも自己肯定感を高める授業づくりが推奨されましたが、依然として数値上では大きな差があります。ただし歴史的・文化的・国民性の違いを考えると数字だけを比較して日本の若者は自己肯定感が低い、自信がないと決めつけるのはやや一面的な見方かなと思っています。

誰に聞いても自己肯定感や自尊心は高い方がよいと答えます。自信を持つて何事にも挑戦する人はやる気に満ちて未来は明るいと思われると思います。確かに勉強やスポーツの分野で活躍する人はほぼ自己肯定感が高い人です。苦しい逆境の中でも「自分ではできる」と信じる力が大きな成果を生む要因となっています。人生を輝かせるには自己肯定感や自尊心はやはり必要です。

これまでの教員人生で出会った生徒の中には「自分は何か良い所がない」「勉強も運動も嫌い」「楽しい事がないから毎日がつまらない」・・・という生徒もいました。中高生は他者と比較して自分を判断する傾向が強く、得てして自己肯定感や自尊心は低くなりがちです。そんな生徒たちにやる気や自信を付けさせたいと思うのは親や先生にとって当然の事だと思います。

では自己肯定感や意欲を高める方策とは何があるのでしょうか。一般的には「褒める」「認める」「夢や希望を叶える」「資格や学歴を得る」等であり、学校では友だち同士で互いの良さを認め合い伝え合う授業づくりが行われています。しかし一時的な満足感では得られてもそれで本当に自己肯定感や意欲は高まるのでしょうか。

自己肯定感や意欲の高まりは家族や先生から愛されていると実感し、自分をわかってくれる人がいる安心感の中から自然と生まれるものと思っています。何かに失敗して叱られても、定期テストの結果が良くなって落ち込んでいても、周囲からの愛情や期待感を実感できれば決して自己肯定感や意欲は消えません。意欲を高める声掛けや意欲を引き出す授業の土台には、子どもの心が穏やかで安心感に包まれた環境整備が絶対に必要なのです。

スーパードライを開発してアサヒビールを見事に再建した樋口広太郎は意欲の见えない社員を無理にやる気にさせようとせず、意欲が湧かない原因・理由を徹底的に取り除く事から始めました。人は誰でも成長したい、認められたい、やりがいをもって生きたいと思うもの・・・この信念の下に様々な阻害要因を徹底的に排除し、社内の空気感や雰囲気を変え、社員の安心感や一体感や会社愛を高める事に成功しました。その結果、当時のビール業界の常識を覆したスーパードライが誕生したのです。

私たちは新たな問題や課題が発生するとすぐに新たな方策や形態を考えてきました。しかし発想を転換して「止める」「取り除く」「修正する」という方法も課題解決に有効だと思っています。長年、保護者の皆様から子育ての相談を受けてきました。「勉強する気がない」「学校の話全くしない」「家でゲームばかりする」・・・なぜやる気が出ないのか、なぜ話をしてくれないのか、なぜゲームばかりするのか、そこには性格や思春期という言葉では片づけられない明らかな原因・理由があるはずなんです。今までの関わり方を見つめ直し、自らの言動や家庭内の現状の損切り（環境整備）をしてみてはいかがでしょうか。

## ★体育祭予行

5月29日（木）体育祭の予行が行われました。体育科の先生の指導の下、生徒たちがそれぞれの役割や種目や応援合戦の流れを確認しました。開会式での校歌合唱では、音楽科の先生の一言で全校生徒の大きな声が校庭に響き渡りました。ラケット&ボール走や大玉転がしそして学年種目では順位が目まぐるしく変わる白熱した競争が行われました。応援合戦では団ごとに工夫した熱い応援が見られ、見る人の心を打つ素晴らしいパフォーマンスが見られました。

## ★決起集会

5月30日（金）団ごとに体育祭への熱い思いを確かめ合う決起集会が行われました。あいにくの雨模様の天候でしたが、生徒たちの気合と迫力と情熱はどの団も素晴らしいものがあり、体育祭にかけける思いで溢れていました。当日が本当に楽しみます。

## ★新あしはら体操

4月より体育科の授業で準備体操の従来のバージョンを変えて、校歌のリズムで体ほぐし運動を行う「新あしはら体操」が行われています。今回の体育祭で初披露されます。思わず校歌を口ずさみながらリズムに乗って楽しく体ほぐし運動ができる体操です。ぜひ開会式での披露に注目していただけたら嬉しいです。

★部活動保護者会

5月2日（金）本校において部活動保護者会が開催されました。保護者の皆様にはご多用の中、ありがとうございます。5月1日から1年生の本部が始まりました。新年度を迎えて改めて部活動に対する学校と保護者の皆様との共通理解が図られたよい機会となりました。

★PTA定期総会

5月2日（金）本校において令和7年度PTA定期総会が開催されました。本年度の会長が再任されました。特に本部役員の皆様には今年度も大変お世話になります。よろしく願います。

★第1回学校運営協議会

5月9日（金）令和7年度、第1回会議が開催されました。委員さんには校舎内を巡り、生徒の活動の様子をご覧いただきました。また校長から本校の過去2年間の成果と課題や教育方針等の説明があり、委員さんからご意見やご感想をいただきました。今後更に熟議ができる会議を目指します。

★民生児童委員・主任児童委員

5月19日（月）葦原中学区を担当する方々と校長との情報交換会が行われました。学校の現状や課題を共有して解決に向けての土台づくりの第一歩となりました。

★つれづれなるままに・・

今年の3月まで20年以上本校脇の歩道橋周辺で子どもたちの見守り活動をされていた3名の地域の方が辞められました。その後任探しの話を近隣の校長先生からたま伺いました。すぐに一人の方のお顔が浮かんできました。2年前まで本校の校務員だったAさんです。すぐに電話をかけて今回のお話をさせていただきました。するとAさんは即断で引き受けて下さいました。その決断の速さに驚きと感謝と申し訳なさの気持ちと同時に湧き上がってきました。Aさんと私はたった1か月しか一緒に働いていません。私の着任時には校務員としての任期が残り1か月だったからです。しかしこの1か月、立場や年齢を超えて語り合い、心を通わせ合いながら着任早々の私の不安な心や戸惑いの心を支えていただきました。退任後も交流は続きました。学校行事の際には自ら交通指導や自転車誘導、施設・設備の補修や雑草刈りもしてくれました。現在、早朝より毎日歩道橋脇に立つて下さっています。先日Aさんからお手紙をいただきました。「引き受けたのは大変お世話になった校長先生へのお礼のつもりでした・・お礼を言いたいのは私の方なのに・・私の方こそ言いたいです。」「Aさん、ありがとうございます」と。

★切り絵リニューアル

現在切り絵師・紙芸アーティストの田幡様による新たな作品が飾られています。「彩り・輝き」がテーマのクジヤクが大きく羽を広げた作品です。ぜひ一度ご覧下さい。

★教育実習

5月19日から本校OBの卒業生が英語科での教育実習が行われています。3年1組で学級経営も学んでいます。未来の先生を応援しています。

★ボランティア除草

5月27日（火）本校のおやじの会や健全育成会そして保護者・地域の皆様によるボランティア除草が行われました。校庭内外の環境整備に大変ご尽力をいただきました。

★制服等リユース販売

5月31日（土）制服等リユース販売が行われました。PTA本部主催のこの取組は回を重ねる毎に盛況となっています。

★通信陸上市内予選（敬称略）

- （優勝）（百m・二百m）県大会
- （4位）（走高跳）
- （6位）（八百m・千五百m）
- （8位）（三千m）
- （八百m）
- （9位）（八百m）
- （走幅跳）

★6月の学校等の予定（5・31現在）

- 1日（日）開校記念日
- 2日（月）振替休業日
- 3日（火）体育祭・衣替え
- 4日（水）体育祭予備日
- 5日（木）知能検査・学力検査（1年）
- 6日（金）通信陸上県大会①
- 葦原中健全育成会総会
- 通信陸上県大会②
- 7日（土）スクールカウンセラー勤務日
- 9日（月）木曜日課
- 10日（火）耳鼻科検診・PTA本部会
- 11日（水）火曜日課・認知症サポーター養成講座（2年）
- 12日（木）大会前部活動あり・眼科検診
- 16日（月）学総壮行会（朝会）
- 17日（火）陸上学総市内予選
- 18日（水）PTA運営委員会
- 19日（木）学総入間東部大会・給食なし
- 20日（金）学総入間東部大会・給食なし
- 21日（土）学総入間東部大会
- 23日（月）学総入間東部大会予備日
- スクールカウンセラー来校日
- 短縮③
- 24日（火）学総入間東部大会予備日
- 専門委員会・短縮⑤
- 25日（水）試験期間部活動停止・葦ゼミ
- 26日（木）試験期間部活動停止・葦ゼミ
- 27日（金）試験期間部活動停止・葦ゼミ
- 小中連絡会（会場・葦中）
- 28日（土）試験期間部活動停止
- 入間地区代表決定戦
- 29日（日）試験期間部活動停止
- 入間地区代表決定戦予備日
- 30日（月）試験期間部活動停止

※体育祭の実施日より一部変更あり